警察署再編整備計画の概要

R8.11

警察署再編整備計画の基本的な考え方

1　社会情勢の変化と治安情勢

- 匿流グループ等による特殊詐欺やサイバー犯罪等、対応すべき治安課題の増加
- 急激な人口減少や過疎化、道路交通網の整備、AI等先端技術の利用拡大等、社会情勢の著しい変化

→　限られた体制で、より高い水準の治安を提供するため、警察署の機能強化と本部の必要な部門の強化による「県下全体の警察力強化」が必要

2　小規模警察署の課題

- 非効率な体制・運用
- 大規模事件・事故への対応能力の不足
- 地域課員の他課への応援勤務等による弊害
- 夜間・休日の体制が脆弱
- 署員に占める実働人員の問題
- 捜査能力や事案対処能力の低下

3　警察署統合の考え方

- 警察署の機能強化
  小規模警察署を同一生活圏内の中規模警察署と統合し、大規模災害、事件・事故等発生時の初動体制等、警察機能を強化
- 分庁舎化による行政機能の維持
  住民ニーズの高い行政手続きについては、引き続き継続して地域住民の安全と利便性を確保
- 災害等の活動拠点としての位置付け

4　小規模警察署の統合により見込まれる効果

- 捜査担当課の体制強化による捜査力・事案対処能力の向上
- 地域警察活動の強化
- 当直体制の強化
- 警察力の再配置

宮古警察署・岩泉警察署の統合

1　宮古警察署に岩泉警察署を統合（令和9年4月）

2　岩泉警察署を分庁舎化し、「宮古警察署岩泉庁舎」として運用

- 岩泉幹部交番の設置
- 交替制の制服勤務の警察官、自動車警ら班（パトカー係）及び生活安全・刑事・交通の各課員を配置
- 交通及び生活安全関係の行政手続窓口を継続

3　署の統合に併せて安家駐在所を幹部交番に統合

釜石警察署・遠野警察署の統合

1　釜石警察署に遠野警察署を統合(左記統合の数年後)

2　遠野警察署を分庁舎化し、「釜石警察署遠野庁舎」として運用

- 遠野幹部交番の設置
- 交替制の制服勤務の警察官、自動車警ら班（パトカー係）及び生活安全・刑事・交通の各課員を配置
- 交通及び生活安全関係の行政手続窓口を継続

3　署の統合に併せて遠野駅前交番及び綾織駐在所を幹部交番に統合

4　分庁舎化後、災害活動拠点として移転・建て替え

警察署再編による機能強化のイメージ

再編前

A警察署

署長 副署長	警務・留置	会計	生活安全
刑　事	交　通	警備	
地域（パトカー係、交番、駐在所）			

B警察署

署長 次長	警務 会計	交通
刑事・生活安全		警備
地域（パトカー係、駐在所）		

再編後

A警察署

署長 副署長	警務・留置	会計
生活安全	刑　事	
交　通	警備	
地域（パトカー係、交番、駐在所）		

分庁舎
（旧B警察署を活用）

生活安全	刑事	交通
幹部交番		
パトカー係	駐在所	

- 捜査担当課の体制強化
- 地域警察官の転用勤務抑制によるパトロール強化
- B署の管理部門等の人員を必要な部署に配置

警察署再編後の管轄図

